

## 1 児童の実態

### (1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5年時	6年時	5年時	6年時
H31 入学 現 6年生	県	全国	県	全国
	(4月)	(4月)	(4月)	(4月)
	61.5	57	56.4	59
	(0.91)	(0.86)	(0.92)	(0.95)
R6 正答率の全国比		0.84		0.93

◎ 5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段( )は県平均を1としての比較。

◎ 「令和6年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

### (2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

- ・国語は、後半の問題について正答率が下がるし、無回答も多い。多数の資料の中から必要な情報や意図を読み取ることができていない。漢字や言葉の問題も弱い。
- ・「図形・速さ、道のり・表やグラフの読み取り」・「考えを式や言葉で説明する。」が弱い。
- ・「月から金曜日までに1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか。」の問いで2時間以上が37.6%いて、「月から金曜日までに1日当たりどれくらいの時間SNSなど動画視聴をしていますか。」の問いでも2時間以上が、43.8%いることから、家庭での学習の習慣化がなされていないように考える。

## 2 改善に向けた具体的な取組

### (1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- ・家庭学習に日記指導として条件作文の練習を取り入れる。
- ・物語文の音読を通して、主人公の気持ちに共感したり、想像したりできるようにする。
- ・ペア学習やグループ学習の折に、他己紹介をさせることで、聞く態度の育成と、聞いたことを自分の言葉として話す学習につなげる。
- ・週末課題や1日1問解く取り組みを継続して、公式や問題の解き方のコツを習得させる。
- ・問題文をよく読み、「問われていること」「大事な数字」などに線を引き、正しく式を立てたり、解答したりする力をつけさせる。

### (2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・マイアセスやタブレットドリルを家庭学習などに用いてフォローアップにつなげる。